

B08a 「すざく」が解明した銀河系中心の拡散 X 線成分

小山勝二(京大)

「すざく」搭載の X 線 CCD カメラ (XIS) による銀河中心観測で我々は、1) 広がった X 線放射が大規模な超高温プラズマ球 (温度は 7000 万度) であることをあきらかにし、2) 多数の超新星残骸とスーパーバブルの候補を発見し、そして 3) 大質量ブラックホールの 300 年前の増、減光の叫びの木霊を聞いた。また、銀河面拡散成分や超新星残骸などからかってない精度で熱的、非熱的 X 線スペクトルを取得し、その放射機構にあらたな知見を多く得た。これらは XIS の性能を極限まで追求して初めてなし得た成果である。本講演では、これら銀河系拡散成分、(超新星残骸、HII 領域、X 線反射星雲) からの X 線放射について概観する。